

# 磐城大衆新聞

毎月二日 十日 一五日発行  
 定価 一部 十錢  
 廣告料 場所指定 十錢  
 印刷所 磐城大衆新聞社  
 印刷人 長谷川兵衛

## 中等學校出の昇進法は

◆斯く心待べし◆  
 ◆斷して卑下する勿れ◆

財界の第一線に働く二十一年來の幾ら骨折つた、と云ふ  
 歳前後の青年諸君！諸君の自分達見たいな中等學校  
 大部分は中等學校若しくは中の連中の出世は知れたもの  
 等實業學校の校門をくぐつた……と云ふ具合に意識  
 ただけに直に實社會に飛び的に無意識的自分達を  
 出した自動的の有爲の青年段引下げて見る卑屈な考  
 であるに相違ない。諸君の腦裡の何處かに根強  
 きて私がそれ等の諸君の將や存在して居らぬと諸君は  
 來の成功を思ふ時に第一に云ひ切れるであらうか、言  
 呈したいのは諸君は斷じて一切の諸君があつたなら  
 諸君自身を輕侮する勿れ畢ばその人達の前途は御氣の  
 下する勿れと云ふ忠言であらうながら知れたものだ云  
 る、とても専門學校や大學つてまい  
 を出た連中とは、太刀打也

## ◆教養に頭を下げよ◆

斯う考へ直しては如何か幸把握する事と出来る誠  
 にして中等學校だけであらう有難いことである。と斯く  
 たればこそ専門出や大學出物事を真直に見て真直に努  
 の連中には充分體驗する力する青年諸君こそやがて  
 とまのない下ッ端の仕事か其の會社なり銀行なりの天  
 ら順々にノッ上げ産業の名下を取るか幹の士である  
 統帥たるの資格をシツカリ

## 常磐實業界の重鎮

平町議員  
 高橋龜松氏

君は平町實業界の偉才とを獲得し家運隆々其底止す  
 て知らるる夙に實業に志し粉る處を知らず亦手空拳東北  
 骨碎身一代にして現在の富の野に蹴起して賣炭業の覇



氏松龜橋高は眞寫

權を握一舉一動石城の炭業界に屬み敢て他を顧みず資  
 を動かすの勢に至れり、君性素より聰明にして熱心亦  
 は幼より薄待にして世路の人紀も胸中非常の大望を  
 辛酸を嘗め炭業界に勞務を注し周到思慮情密商機を  
 探る事多年然し天資英敏な洞察して倦怠するなく商才  
 の君は艱難汝を遂にするの又敏艱難辛苦を経て枯樹經

俚言の如く苦戰奮闘其の間嘗て月に地方の信用を博  
 に心を研ぎ磨を練り時機のし着て成功の實を擧げ今日  
 到るを待つ久し天も君の富を得るに到れり、眞に  
 性を愛して成功の順路に就現代の成功者なり亦常に町  
 かしむ世界の大戦起るや工治に意を用ひ大都市建設の  
 業界の勃興と共に石炭の需途上にある平町として如何に  
 要激増其高騰せる價路頗るして伸びんかば愛慮し町治  
 炭界の盛況を呈するに至れり、此の機に乗じて僅かの  
 貯蓄を資金に當て奮然としを忘れて町民の福利増進の  
 て賣炭業を開始し多年炭礦爲めに奮闘を續けつゝあり  
 界にして經驗せる其慧眼は次回町議の選挙には必ずや  
 炭質の撰擇に敏にして需要大最高点を以て當選する事  
 者の意中の的中し益々經營であらう。

## 義俠五義の新人

河田梅吉氏

平町鐵工業界の模範工場主 河田梅吉氏を指すもので  
 は第一として我が敬愛するの有望なる事を看破する君  
 河田梅吉氏を指すものでは各種鐵工場に入り帷に其

研讀怠なく克く其業に通ず河田君の創建せしめ  
 るに至りて釜清工場の後をたるとある一度君の温  
 譲り受け一時頗る不振に陥愛なる態度に接せば湧然と  
 入るたるも君の縦横なる才しる人情美の發露覺の實に  
 腕を揮ひ、徐々其回復に君の圓滿なる人格の賜なり  
 努め今や縣下工業界の風靡と信す復た政治生活には相  
 するの隆盛を見るは蓋し君當の造詣を有し次期町議  
 の達觀せる所謂事業眼と店員職へは敢然と出馬すまで  
 員以下従業員との協力一致あらう。

## 温厚篤實の人

金子重次氏

平町町大通りの老舗(松つて新鮮なるものを愛好者  
 月堂菓子店の主人)であるに供給してゐる事が到底他  
 君は本郡勿來町窪田の名店の眞似なし能ざる處であ  
 門家に生れて天性頗る温厚の所以積累の家に余慶ある  
 篤實の青年紳士であるのたごへである優良なるラ  
 先代主角蔵氏逝去後事業をシオ機を店頭に掲置き松月  
 繼承し恒に上流社會を背景の菓子と松月の赤粉をば  
 として(松月の菓子)に限る聯想的關係ある如く松月堂  
 の好評を以て迎ひられつゝフアンを喜ばせてゐる正に  
 なる所以は、其の原料に技に營業の發展と金子氏の健  
 術に細心の注意と努力を拂康とを祈るものである。

## 校運の進展を計る

磐城佑賢學會會長

大和田豊吉氏

聖人の如き高潔なる人格者業たる私立學校の經營も其  
 我が大和田先生を得紹介す努力容易ならず、然れども  
 の機會を得たる事を最も常に不屈不撓の大精神を以  
 光榮と信ず氏は本郡飯野村で殆んど寢食を忘れて校運  
 出身にして天性温良着實のの進展と優良なる青年を傑  
 君子思想、性行俱に近世に出せしむるに努力す、其育  
 稀れに見る典型的の教育家英界の王者として社會全般  
 であり飽く迄謙讓の美德をから先生の貢献の偉大なる  
 以て吾人の如き者にも城壁事と認識するものである同  
 を設けずして接應し自から校を卒業し各社會に活躍す  
 畏敬の念を起さしむるも既に四百數十たり先生  
 事業中、最も其經營に難事功績と雪の如き人格を崇拜

## ◆中元御挨拶◆

- 石城銀行組合
- 石城町村長會
- 石城小學校長會
- 東部電力平營業所
- 磐城片倉製糸會社
- 平運輸株式會社
- 磐城建物株式會社
- 郡山無盡平出張所
- 平藝妓屋組合
- 平町料理屋組合
- 平町旅館組合
- 山崎合名會社
- ◆五週年記念號◆
- 磐城炭礦株式會社
- 入山探炭株式會社
- 古河炭礦株式會社
- 五十嵐炭礦
- 不動澤礦業所
- 小田炭礦株式會社

する青年が年と共に追及すと信ずるは蓋し偶然に非ざるなり

平町 芹澤忠義	平町 伏見彦衛	平町 高橋龜松	平町 萩原申八	平町 關内正一	内郷村 杉山今朝吉	飯野村 山崎吉平	平町 野崎滿藏	平町 鈴木辰三郎	湯本町 比佐昌平	錦村 金成通	山田村 安島重三郎	平町 諸橋久太郎	平町 山崎與三郎	中元御挨拶						
平町 小宅喜久治	平町 小林清吉	平町 節田榮太郎	平町 金成泉一郎	平町 難波睦	平町 石山謙郎	平町 木澤常松	平町 柴田徳二	平町 三井文吉	平町 三井富吉	平町 山崎佐一郎	平町 齊藤榮三郎	好間村 小田吉次	平町 多田井笑次郎	平町 青田天源一郎						
平町三丁目 丸ほん商店 電話三五九	平町五丁目 森田屋洋品店 電話三五三	平町五丁目 大竹酒店 電話三三二	平町五丁目 小野吳服店	平町一丁目 齋藤夕七店 電話四七四	平町古鍛冶町 青木精米所	平町城山 高玉徳彌	平町仲町 小野長吉	平町城山 福島寛利	平町三丁目 大黒屋商店 電話一六	平町三丁目 夕力キヤ商店 電話四四七	平町三丁目 大谷時計店 電話一九	平町古鍛冶町 矢吹醫院 電話二六六	平町三丁目 藤沼醫院 電話五〇七	平町二丁目 荒物商 大一屋 電話一二二	平町才植小路 瀬尾藥局 電話五五三	平町五丁目 山野邊藥局	平町三丁目 赤かや洋服店	平町三丁目 大平藥局 電話六四二	平町長橋町 清野彦四郎	平町 磐城共濟病院 電話六四一
平町新川町 佐藤材木店 電話三三五	平町二丁目裏通り 小松崎本店 電話三七五	新築落成 平町紺屋町 織田材木店 電話一一〇番	平町研町 阿部材木店 電話四九四番	平町四丁目 小野藥局 電話一四四	平町四丁目 會社資松本菓子店 電話二一四	平町一丁目 大平藥局 電話六四二	平町長橋町 清野彦四郎	平町 磐城共濟病院 電話六四一	平町三丁目 大黒屋商店 電話一六	平町三丁目 夕力キヤ商店 電話四四七	平町三丁目 大谷時計店 電話一九	平町古鍛冶町 矢吹醫院 電話二六六	平町三丁目 藤沼醫院 電話五〇七	平町二丁目 荒物商 大一屋 電話一二二	平町才植小路 瀬尾藥局 電話五五三	平町五丁目 山野邊藥局	平町三丁目 赤かや洋服店	平町三丁目 大平藥局 電話六四二	平町長橋町 清野彦四郎	平町 磐城共濟病院 電話六四一